



学校だより

6月号

平成28年6月1日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

Z S F への熱き思いとひたむきな努力

副校長 宇田川 聡



平成28年4月1日付けで、前副校長の本間 明に代わり、本校に着任いたしました。善部小学校に着任する以前は、保土ヶ谷区の帷子小学校におりました。学校周辺には大きな団地がたくさんあり、相鉄線が校庭の向こう側に走っている学校でした。

善部小学校はすぐ近くに新幹線が通っており、鉄道に縁があると感じつつ、どんな子ども達を通っているのか出会いを楽しみにしておりました。

入学式・始業式の前日、新年度になって初めて登校してきた6年生が、入学式や新学期の準備で一生懸命働いている姿を見て、最高学年としての自覚をもって進んで活動しており、頼もしく感じました。

Z S Fには、数多くの保護者の皆様、地域の皆様、学校関係者の方々にお忙しい中、ご来校いただき、温かいご声援とご協力いただきまして心より感謝申し上げます。

Z S Fでは、練習の段階から、1年生から6年生のどの学年も演技や競技、応援や開閉会式の動き等多くのことを、一つ一つ覚え、身につけていく様子を見て、よく頑張っているなど感心していました。もちろん最初のうちはぎこちなく不安げな動きが見受けられ、声も十分出せていない場面もありました。しかし、回を重ねていくうちに、指示や掛け声、曲等に合わせた動きができるようになり、子ども達の表情を見ても次第に自信をもって行動できるようになってきているのを感じました。それと共に1年生から6年生のたてわりスマイル班では、班長を中心に異学年同士が協力し合って、応援練習では、応援団の指示や掛け声に従って大きな声を出したり動いたりする活動が見られるようになり、活気や盛り上がりが出てきました。音楽の時間や各クラスで歌っている応援歌を聞いても、Z S F当日が近づくにつれて、気合のこもった声が校舎内に響いていました。普段は仲良く生活している子ども達ですが、Z S Fでの「勝ちたい」という思いから本気になって競い合うという活動も大切であると感じています。

1・2年生の踊るポンポコリンの曲による可愛らしい踊り、3・4年生のソーラン節の力強い演技、5・6年生の伝統ある「飛翔」の曲でのダイナミックかつ繊細な動きを兼ね備えた芸術ともいえる演技、どれをとっても見事に演じることができ、子ども達も真剣かつ満足気な表情を浮かべていたのが印象的でした。

徒競走では、自分のもてる力を精一杯出し切ってゴールを駆け抜け、スマイル班競技では、ボールを落とさないよう互いに気持ちを集中して一生懸命走って気持ちが一つになっているのを感じました。

このようにZ S Fという行事を通して、子ども達は目標に向かって努力し、やるべき事を理解し、身に付けていくこと、直面した課題に取り組み、力を合わせて乗り越えることにより大きく成長しました。教職員も計画の段階から指導・支援そして準備等真剣に取り組んできました。

本番では、その成果を十分に発揮し、子ども達の成長した姿を皆様に見ていただけたことを大変嬉しく思います。これからも、学校生活や多くの学習活動を通して子ども達一人ひとりが成長していくために教職員が一体となって努めてまいりますので、どうぞご理解ご協力のほどお願いいたします。

